

本日の議論のポイントと 今後の進め方について

2018年2月19日

国民経済計算体系的整備部会・部会長

宮川 努

一本日の議論のポイント

統合比率 に対する 考え方

- 内閣府：SNA体系における会計的整合性の観点を重視（ $\alpha+\beta=1$ 、水準で統合）
- 関根委員：短期の景気予測指標としての観点を重視（ $\alpha+\beta\neq 1$ 、伸び率で統合）

今後の 対応策

- 内閣府
 - QEの更なる精度向上に向けた具体的な内容・スケジュールの策定
 - 短期の景気予測・分析に資する新たな情報提供のあり方について検討

今後の進め方

懇談
会

(2/19)

- 統合比率のあり方について検討し、一定の整理を得る

懇談
会

(3/22)

- QEの更なる精度向上に向けた具体的な工程表について検討
- 短期の景気予測・分析に資する新たな情報提供のあり方について検討

部会

(3/22)

- 懇談会での検討結果を踏まえた部会としての取りまとめを実施(公表)
- 必要に応じ、4月以降の審議体制も検討

委員
会

(3/28)

- 部会長が検討結果を統計委員会に報告